



イラスト:和田中5組(特別支援学級)
の生徒さん 作

ボランティア通信

発行 社会福祉法人 多摩市社会福祉協議会
多摩ボランティアセンター

TEL 042-373-6611 FAX 042-373-5612

<http://www.tamashakyo.jp/volu/>



携帯に送る

4月号

今月の必見!!

東日本大震災関連のお知らせ

👉 2～4頁へ GO!

心身障がい者青年教室ほか土日の活動もあります! ボランティア募集!

👉 5・6頁へ GO!

「リサイクル・フック・エイド」ほか地域の情報・催しと助成情報は...

👉 7・8頁へ GO!

ボラセン TOPICS

このたびの東日本大震災により被災された皆さま、そのご家族の方々に心よりお見舞い申し上げます。
一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

復興へのあたたかい
ご支援を
お願い致します



被災地の復興と支援を目的に、義援金の受付を行っています。

★募金箱による受付(4月28日まで)

設置場所 多摩市総合福祉センター(1・3・7階)

ボランティアセンター永山分室、多摩市役所他

★口座振込みによる受付(9月30日まで)

中央共同募金会や日本赤十字社の口座に直接お振込ください。

振込先等詳細については、各ホームページ等にてご確認ください。

問合せ 地域福祉推進課まちづくり推進係 ☎042-373-5616

今、わたしたちができること
多摩太鼓-こどもまつり2011
街頭募金
ボランティア募集!

5月3(火・祝)～5日(木・祝)

11:00～12:00

13:00～14:00

15:00～16:00

各時間帯先着 10名を募集します。

申込・問合せ

多摩ボランティアセンター

☎042-373-6611



多摩太鼓さんと一緒に募金活動!

★4/3～4/8までの期間、ヴィータコミュニネさくら広場前(写真)をかわきりに各地で街頭募金を実施。多摩太鼓さんをはじめ、多くのボランティアの皆さんにご協力をいただき、本当にありがとうございます。こどもまつりでも行いますので、無理のない範囲で構いません!ご協力ください。

【お詫びとお願い】

3月31日までの期間、臨時閉館等させていただき、利用者の皆さまには大変ご不便をおかけしました。4月1日より通常の開館となりますが、節電対策のため夜間の使用は当面できなくなります。また、計画停電が実施される場合は、ご退室をお願いすることとなります。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

ご希望の方には添付メール(PDFファイル)で配信いたします。毎月第1木曜日発行

E-mail: tamavc@tamashakyo.jp へ「V通信希望」の空メールを送信してください。

3.11 東日本大震災 発生!



今回の地震では、被災地域が広く、津波等の被害も大きいため、被災された方々の生活を取り戻すには、長い道のりが必要になるのではないかと思います。今、私たちにできることは何か…。共に考え、歩いていきましょう。

地震! その時 多摩市では...

多摩市は震度5弱。かつてないほどの揺れを経験しました。その時どうだったのか、今回の地震で感じたことなどを聞いてみました。

その日体調が悪く横になっていたが、3m位離れているテレビが飛んできるとかと思ひ怖かった。(固定してよかった!)停電になったら外に逃げられないと思った。(玄関に降りるのに電動のリフトを使用)街中はエレベーターが設置されスロープが無くなった。停電を考えるとスロープも大事と感じた。
(車いす使用者の方)

日頃から、ご近所で声をかけ合うことが大切です
地域の受援力*を高めましょう!
*「支援を受け入れる力(受援力)」ボランティアなどを地域で受け入れる環境・知恵などのこと

発生後、連絡手段が断たれてしまったのが困った。電車が動かない中、作業所から送迎バスのルートを延長して送り届けてもらい助かった。知的障がいのある子どもが計画停電を理解できずにいる。電気がなぜ消えるのか、実施するのかしないのか...本人や家族もストレスになっている。
(知的障がいの子を持つ保護者の方)

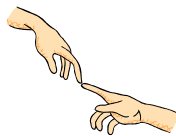
自宅にひとりでした。準備してあった「防災袋」を取り出したが、中身がわかるようにと貼った点字シールがはがれていた。(時々中身を点検しなくては!)停電などの情報、テレビのテロップも見えないし、防災無線も聞きづらい。しかし、民生委員の方や知っている人から電話をもらい、安心した。声をかけてもらったり、触れてもらうとホッとする。
(視覚障がい者の方)



▲災害時要援護者からのメッセージ
多摩ボランティアセンター発行

発生後、独り暮らし高齢者宅を訪問。転倒防止など対策をしていない方はやはり被害も大きく、片付けなどが大変だった様子。(民生委員)翌日に訪問に周ったが、すでに近所の助け合いがあった。地震が起つてすぐは、やはり隣近所が大事!
(包括支援センター)
-3/19 ネットワーク永山定例会より-

物資受付・仕分けに参加したボランティアさんからのメッセージ



- *就活中でしたが選考が延期となり、自分にできることを考える時間がとれたため、参加しました。遠く離れた場所からでも応援しています。一緒にふんばりましょう!
- *何か不足しているものはありますか? 心配しています。
- *被災地の皆さんの笑顔を取り戻される日が早く来ることを願っています。
- *支援の"Wa"が今だけでなく、半年後、一年後、二年後...と続けられるように。みんなつながっています!
- *日本人として、日本で起きてしまった事を受け入れ、一緒に再建していきましょう。体に気をつけて下さい。

- *私にできることはほんの小さなことです。でも、日本中、世界中の人達の思いがひとつになって被災地の方々に届き、大きな力となれることを信じたいと思っています。
- *震災時のことを思い出すと、今でも恐ろしいです。しかし私には、前を向いて生きることしかできません。この試練には決して負けません。
- *災害をいつまでも忘れないで、長〜く助けてあげられるといいなと思います。お金が一番!?
- *1年後、2年後...何年たっても被災した人がいることを、忘れないことが大切だと思っています。募金も1年後・2年後には被災者への義援金ではなく、ボランティア活動などの資金としての救済金が必要になってきます。ボランティア活動はやれるときにできることを!「してあげる」ではなく「共にする」こと、「頑張る!」ではなく「頑張ろう!」

救援物資受付・仕分け等ボランティア活動



多摩市では、3月25日より4月7日までの14日間、救援物資の受付を行いました。多摩ボランティアセンターでは、市の要請を受けて救援物資の受付や仕分けなどのボランティア活動を行いました。

「受付」対象品目以外のもの・未使用でも外の袋が開封されている衛生用品は、残念ながらお断りすることも。せっかくの善意ですが、現地で必要とされているものや使う方の気持ちを考えてのこと...。物資を届けることの難しさを感じます。

「仕分け」品目をサイズごとに細かな仕分けをします。仕分けルールは日々改善を心がける一方、たくさんの方々に関わっていただく中で、すぐには意見を反映できないこともありました。

「梱包」「積込み」ある程度物資が集まった段階で、輸送用に隙間なく詰めて梱包、内容物と個数を書いたラベルを貼り、最後にたくさんの方の手により、トラックに積み込まれました。

活動の場面が少なかった...という感想もいただきました。いつ届けられても対応できるように、毎日10名前後の方がスタンバイをしておりましたので、曜日や時間帯で来所者数も違い、ボランティアの方には「待っていていただく」時間もありました。皆さんの「少しでも被災地の方々の方力になりたい」という思いを感じる一方、初めての取り組みの中で、職員の対応の不備により不快な思いを抱かれた場面があったこととお詫び申し上げます。今回を機に、職員一同、チーム力を高めていきたいと思っています。 **延べ245名のボランティアの皆さん、ありがとうございました！**

また、ボランティア登録団体及び東京海上日動システムズの皆さん方については、14日間をローテーションでそれぞれ活動していただき、本当にありがとうございました。

速報！石巻市からのレポート！ 4月4・5日～センター長より～

皆さまから寄せられた救援物資は、東京都や福島県相馬郡新地町、宮城県石巻市へ届けられました。



石巻市役所周辺の住民の声「ようやく津波で使えなくなった家具などを外に出し終えた。これから泥出しを行うところ。私たちよりもっと大変な、港の方の住民の支援をしてほしい」「スーパーやガソリンスタンドなどが営業を再開し、徐々に必要なものを手に入れられるようになってきているが、車がないと買い物ができないので、困っている人はいる」今週あたりから営業を再開するお店がさらに増えそうだが、石巻駅周辺はもう少し時間がかかりそうな様子。

災害ボランティアセンター 社協事務局も被災しその片付けもできないまま、全国社会福祉協議会等の応援職員により災害ボラセンを立ち上げ。全国からのボランティア3308人を受付しているが、ニーズに対するマッチング率は約30%のため、ボランティアがとても不足している。今一番のニーズは、一般家庭の清掃だが、泥を入れる土嚢袋が不足し困っている。また、石巻市で緊急救援活動をしている56のNGO/NPO団体で、災害復興支援協議会を設置し、互いに報告し合い、必要な支援の調整をしている。

避難所 避難所約150と町内会60～70箇所に自衛隊と佐川急便が物資を配送。物資配布時に、今必要なものが何かを確認している。ほとんどの避難所に、3食提供できている。ケアが必要なお年寄りや支援が必要な障がいのある方等の避難場所として1箇所設置している。

被災地でのボランティア活動情報

一部の災害ボランティアセンターで、県外からのボランティアを募集しています。以下のサイト等で募集状況や事前の注意事項など必ず情報収集し、ボランティア保険(天災付)に加入した上で現地に向かわれますようお願いいたします。上記の通り、現地での活動は地元の方々の負担にならない準備が必要です。

東日本大震災支援全国ネットワーク <http://www.jpn-civil.net/>

東京ボランティア・市民活動センター <http://www.tvac.or.jp/>

★現地で活動をしているNGOやNPO団体を支援する、東京でできる支援の方法もあります★

ボランティア出張受付窓口を開設します！

平成23年度のボランティア保険及びボランティア登録・更新の手続きを下記の日
程で行います。「ボランティア体験をしたい」「趣味や特技を活かして活動したい」
「ボランティアの協力をお願いしたい」など、ボランティア活動に関する相談もお受け
します。お気軽にお越しください！



日程	受付窓口
4/8(金)	ひじり館
4/9(土)	ベルブ永山3F永山公民館
4/14(木)	愛宕かえで館
4/19(火)	貝取こぶし館

窓口開設時間
13時30分～15時30分

多摩ボランティアセンター及び永山分室でも常時受付しています。お立ち寄りください。

ボランティア保険とは...

国内におけるボランティア活動中の事故によりボランティア本人がケガをした場合や、ボランティアの方が、ボランティア活動中に他人に対して損害を与えたことにより、損害賠償問題が生じた場合の両方を保証する保険です。

平成22年度の保険は3月31日で補償期間が終了しています。改めて、ボランティア保険の加入手続きが必要となりますので、上記窓口までお越しください。なお、平成23年度よりボランティア保険の補償内容の変更(保険料の変更はありません)と、行事保険の宿泊保険料が変更となっています。詳しくは、パンフレット(窓口で配布)をご覧ください。被災地でのボランティア活動を予定される方は、必ず天災付のボランティア保険を掛けて下さい。

ボランティアの登録について

今後、多摩市内での災害支援のお手伝いなどの要請があった場合に備え登録を行っています。特技・資格等を有する方の登録を特に求めます。詳細は、多摩ボランティアセンターまでお問い合わせ下さい。

多摩ボランティアセンター ☎042-373-6611

災害支援等の活動について個別にお知らせするものではありません。情報は、随時多摩ボランティアセンターホームページでお知らせしていますので、ぜひご覧ください。

水中運動アシスト養成講座 ～水中運動における介助～

高齢者、障がい者の方が安全に水中運動するための介助方法を学びます。プールでのボランティア活動に関心がある方、ぜひご参加ください。

日時：4月13日～5月25日 毎週水曜日 9:30～11:30(全6回) 但し5月4日は除く

場所：多摩市総合福祉センター5階 水浴訓練室 定員：10人(先着順)

対象：20～60歳 終了後ボランティアとして活動できる方

内容：運動方法の習得 介助方法の習得 今後の活動にむけて

講師：大塔松恵・武藤孝子(運動指導員)

申込み/問合せ：多摩ボランティアセンター ☎042-373-6611

ボランティア基金へのご寄付(3月末現在)～皆様の温かいご厚意に深く感謝申し上げます。

・おもちゃ病院 KEBO 5,000円

・多摩市音訳グループ 繭 11,000円

ボランティア基金は、ボランティア活動の振興のために積み立てられています。ボランティア活動を支えるボランティア基金にご協力をお願いします。寄付金には、所得税・住民税・法人税等の所得控除が認められています。優遇税制をご利用いただき、ぜひご支援ください。

ボランティアさん 出番です!
～申し込み・問合せはお気軽に～
☎042-373-6611

他にも活動先はたくさんあります。
活動によっては見学体験ができます。
詳しい説明をしますので、遠慮なく
お電話下さい。相談だけでも結構です。



単発ボランティア募集

	名称・活動先	内容・募集人数	日時	備考
New!	1 特定非営利活動法人 オックス・ジャパン トレイルウォーカージャパン 小田原～山中湖村	ウォーキングイベントの 協力	5月13日(金) 6:00～ 5月15日(日) 12:00まで シフト交代制	*スタートから ゴールまでのコ ース上、及び、8 つのチェックポ イント

継続ボランティア募集

	名称・活動先	内容・募集人数	日時	備考
New!	1 心身障がい者青年教室 永山公民館(ベルブ永山) ☎337-6661(早借・藤平)	主に知的障がいを持つ方 の日曜教室でレクリエー ション活動の手伝いと交 流	月1回/年9回 4.8.1月は休み 基本第4日曜日	ボランティア説明会 4月24日(日) 10:00～12:00 興味のある方は、直 接会場へ(永山公民 館4階集会室)
	2 新天本病院 デイケア 中沢2-5-1	園芸指導 又はお手伝い 1～2名	週3回	曜日・時間等は応相 談
	3 アルジャメゾン紅梅 八王子市東中野196-5	暮の相手 1名	月・水・木のい ずれか午前また は午後	
		かな習字 1名	木曜日 10:00～12:00	
	4 南野デイサービス 総合福祉センター 4階	書道指導	月2回 13:30～15:00	活動は4月からです
		利用者の話相手・お茶出 し・プログラム補助	月・水曜日 9:00～16:00 曜日・時間は応 相談	交通費は要請者負担 お昼にかかる場合は 弁当持参
	5 軽費老人ホーム偕楽荘 山王下1-18-2	手芸の指導 (パッチワーク、人形づ くり、編み物など)	第2・4水曜日 13:30～15:30	交通費等要請者負担

	名称・活動先	内容	日時	備考
6	多摩中央病院 連光寺2-62-2	入院されている方の 散歩付添い	金曜日 9:00~11:30	
7	リハビリ介助 場所：要請者宅 (鶴牧3丁目) 参考HP http://www2u.biglobe.ne.jp/catch/	脳性マヒの肢体不自 由の男児(2歳)の リハビリプログラム 介助。 1回 1~2人	月~日曜日の 午前または午後の2 時間程度 週1回でも可	交通費は応相談 *1セット30分の 身体訓練を1日4~ 5セット毎日継続 して実施すること で、脳の機能回復を 促します。 活動者が不足し ています!!
8	障害者福祉センター 総合福祉センター5階 水浴訓練室 身体に障がいのある方が水中機 能訓練を受ける際の水中でのア シスト	水中機能訓練アシスト 月10:30~12:00 13:00~14:30 火10:00~11:30 13:00~14:30 木13:30~14:30 14:30~16:00 金10:00~12:00 13:00~14:30 毎週活動できない方、上記以外で活動 を希望される方はご相談ください。		交通費は要請者負 担 利用者と一緒に体 験してから活動 水中機能訓練の見 学可
9	ボランティアセンター 総合福祉センター7階 ボランティア活動室	車いす整備	4月19日(火) 10:00~12:00	初めての方でも大 丈夫です
10	ボランティアセンター 総合福祉センター7階 ボランティア活動室	ボランティア通信 の封入・発送作業	5月12日(木) 13:30~	初めての方でも大 丈夫です

急募!

活動します! 活動しました!

単発ボランティア活動

- (1) 高齢者施設 イベント 1名
(2) 災害支援ボランティア(4月4日現在)
物資仕分け・受付ボランティア

団体より：のべ95名、個人：のべ128名

義援金街頭立ち のべ34名

義援金募金金額 累計 約110万円(4月6日現在)

金額等の詳細につきましては、金額確定次第あらためてご報告します。

皆様の温かいご支援ご協力ありがとうございます。



地域の情報と催し

記載のないものは
参加費無料・直接会場へ

多摩市社会福祉協議会

ボランティア活動振興助成金事業

犬のしつけ方教室～愛犬と一緒にレッスン～
ゲームをしながら楽しく学びましょう。

(だるまさんが転んだ等)

日時：5月15日(日)13:00～15:00 雨天中止

場所：都立桜ヶ丘公園内 さとやまくらぶ前広場

講師：三田 舞先生(ドッグトレーナー)

要申込：5/5締切

申込/問合せ：たま愛犬くらぶ

☎090-3008-6391

本棚で眠っている本が役立ちます

本をいかす「リサイクル・ブック・エイド」

読み終わったまだきれいな本、CD・DVD・ゲームソフトをお譲りください。ブックオフの宅本便システムを利用し、査定額+10%をシャンティ国際ボランティア会(SVA)へ寄付します。登録料、送料、手数料はかかりません。ミカン箱程度の大きさの段ボール箱に詰め、集荷希望日を申込み下さい。

申込：<http://www.sva.or.jp/bookaid>

(ブックエイドで検索してください)

問合せ：公益財団法人 シャンティ国際ボランティア会

☎03-6457-4585 FAX03-5360-1220

多摩ボランティアセンター・永山分室でも集めています

回収BOXを12月10日まで設置しています。1冊からでも結構です。古本の買取寄付の募金を通じて、アジアの子どもたちのために、1万冊の民話絵本を出版し、送り届けます。

シャンティ国際ボランティア会(SVA)とは ...
カンボジア難民キャンプの子どもたちのために移動図書館活動30年。アジア難民キャンプやアフガニスタンで活動を続ける国際NGOです。過去の経験を生かし、東日本大震災の緊急救援活動を、気仙沼市を中心に行っています。

多摩ボランティアセンター

登録団体連絡会だより vol.34

次回定例会 4月20日(水)13:30～

総合福祉センター7階

、救援キャンペーン

最新現地報告&チャリティコンサート

「チェルノブイリ 25年命・自然」

1986年4月26日、旧ソ連(現ウクライナ)チェルノブイリ原発が爆発。現在も被災地では子どもたちががん等の病気が現れている。取り返しのつかないことを、子どもたちは身をもって示している。過去の出来事でも他人事でもない子どもたちへの支援の手を!

日時：4月23日(土)14:00開演(13:30開場)

場所：牛込筆筈区民ホール(新宿区)

最寄駅：大江戸線牛込神楽坂駅、東西線神楽坂駅、

JR/東京メトロ飯田橋駅

内容：第1部 スライド映像と講演 広河隆一氏
(フォトジャーナリスト、チェルノブイリ子ども基金の設立者/現在顧問)

第2部 チャリティコンサート

歌 クミコ(特別出演)

チケット：全席自由 一般前売り2500円

当日3000円 18歳以下/障がい者1200円

後援：ウクライナ大使館、ロシア連邦大使館、

ベラルーシ共和国大使館

主催/問合せ:チェルノブイリ子ども基金

☎/FAX 03-5228-2680

<http://www.smn.cp.jp/cherno/index.html>

この催しの収益は、被災地の子どもたちの医薬品代や転地療養費用等に用いられます。

《チェルノブイリ子ども基金とは》...

1991年設立。これまでに医療機器・医薬品・ミルク・教材等を寄贈。物品/経済支援を行っています。

《広河隆一 チェルノブイリ写真展》

日時：4月14日(木)～19日(火)12:00～19:00

場所：早稲田奉仕園スコットホールギャラリー

(新宿区) 最寄駅：東西線早稲田駅



3.11 まさかのことが・・・すでに2週間以上経っていますが、机に向かってしていると、めまいを感じることがあります。被災された方がた。対応に頑張っている方々。刻々変わる現地からの情報を前に、自分は今なにをしたらよいのか、考える日々。テレビに流れる「行為の意味」は自分への警告なのでしょう。ボランティア連絡会は、中止としましたが、すでに災害ボランティア活動は動き始めています。3月25日からは、救援物資の受付、仕分け梱包が総合体育館で開始。多くの登録団体が交代で担当しています。これからも長い復興へ向けての活動は続きます。「できることをできるところから。」さまざまな形で、ボランティアの気持ちを行動にうつしていきましょう。亡くなられた方に合掌。(とのぐさ)

参加者・ボランティアさん募集中！ 計画停電などにより変更の場合があります。

名称	日時・場所	毎月	費用・持ち物	問合せ
<スペース・ひなた> 精神障がい者支援 ボランティアグループです 	4/13・20(水) 10:00～12:30 健康センター3階(関・一つむぎ館) 第1・2・3水曜日 祭日は休み		100円 (お茶代)	多摩ボランティアセンター ☎373-6611
おいしんぼクラブ・もみじ亭 メンバーと精神保健ボランティアと一緒に昼食を作ります。	4/13(水) 10:00～14:00 総合福祉センター5階調理室 《お好みおにぎり・けんちん汁・卵の花・桜餅》 第2水曜日		400円 米180cc I°ロン/三角巾	
グループTOMO/料理訓練 障がいの有無に関わらず、ご参加ください。	4/28(木) 10:00～15:00 永山公民館4階調理室 《グラタン・スープ・サラダ・デザート》 第4木曜日		900円 I°ロン/持ち帰り容器	グループTOMO ☎/FAX 389-1234 (4/26締切)
多摩市視覚障害者福祉協会 「歩こう会」視覚障がい者の方とボランティアと一緒に歩行介助を学びながら歩きます	4/27(水) 昭和記念公園 小田急多摩センター駅 改札口 10時集合 時間厳守 雨天の場合 多摩センターで昼食 第4水曜日		昼食・交通費 雨天決行時 昼食代のみ バルテノン多摩 ミュージックサウンド・ルーム	斉藤 ☎371-1768 (4/25締切)

助成情報～詳細は各HPをご覧ください～

➤(財)キリン福祉財団

平成23年度 キリン・子ども「力(ちから)」応援事業 締切：4/30(土)消印有効
 子どもたち自らの力を引き出すことを目的に、子どもの発想から生まれ、子どもたち(18歳以下のメンバーが中心となって活動する4人以上のサークル、グループ)が主体をなして実施する活動
 但し学校・施設等のクラブ・サークル活動や課外授業などは対象外 助成金額：上限15万円/1団体
 申込/問合せ：(財)キリン福祉財団 キリン・子ども「力」応援事業事務局 ☎03-5540-3522
 FAX03-5540-3525 <http://www.kirin.co.jp/foundation/>

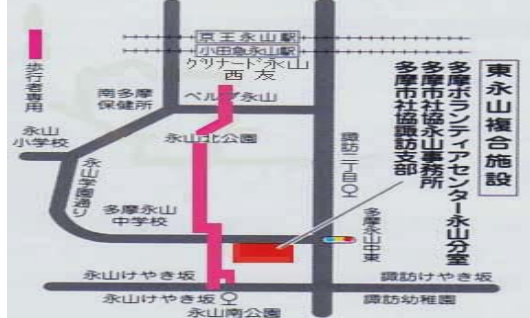
職員異動のお知らせ

永山分室勤務の齋藤弘美(ボランティアコーディネーター)は、4月1日付で多摩ボランティアセンター(総合福祉センター7階)勤務となりました。これからもよろしくお願いたします。



多摩ボランティアセンター
 月～金 8:30～17:00
 〒206-0032 多摩市南野3-15-1 総合福祉センター7階
 (小田急線「唐木田駅」下車 徒歩8分)
 TEL 042-373-6611 FAX 042-373-5612
 e-mail→tamavc@tamashakyo.jp

多摩ボランティアセンター永山分室
 月～金 9:00～17:00 第2土曜日
 〒206-0025 多摩市永山3-9(東永山複合施設内)
 (小田急・京王線「永山駅」下車 徒歩10分)
 TEL 042-373-6642 FAX 042-306-1132
 e-mail→tamavc-nagayama@tamashakyo.jp



土曜日の窓口 第1/市民活動情報センター13:30～15:30 第2/ベルブ永山3階13:30～15:30
 第3・4・5/総合福祉センター3階福祉機器展示コーナー 9:00～17:00